

令和4年度 天子田デイサービスセンター事業報告

【施設種別】介護保険法による通所介護・予防専門型通所サービス【1日利用定員】25名

令和4年度は、個別機能訓練加算、運動器機能向上加算、口腔器機能向上加算の算定を行い、成果を上げてきた。介護保険の収入において、5月は今年度最高額の500万円以上を達成することができた。

しかし夏頃から、事業所内でのコロナ感染が拡大し、利用者や職員の多数が感染してしまった事で休業をせざるを得ない状況に追い込まれた。度々の休業で利用者の身体機能の低下が著しく、持病の悪化で入院される利用者も多数みえた。コロナ感染していない利用者にも、間接的な影響があまりに大きかった。今年度の後半になっても、利用者登録数は元に戻らない状況が続いている。

利用者懇談会、ユーザー評価の結果を見ると、職員に安心感や信頼感を持って頂いており、基本的なサービスには満足して頂いていると感じられる。職員の半数以上が60代以上となっているが、対応に安心感を持って頂けているのではないかと考える。その他の世代の職員も、自分の役割を意識しながら協力的に業務をすすめてくれた。

10月の運営指導では、口腔器機能向上加算の算定に必要な書類の不備の指摘を受け、令和4年2月から10月までの加算を約30万円返還する事となった。介護保険の収入においては、昨年度より約300万円の減収となった。

設備面においては、チェア浴の入替工事と2Fリハビリ室のエアコン改修工事を行った。

1 基本方針

当施設にあっては、「自分らしくをいつまでも」をスローガンに、法人内の在宅支援サービス部門と協力して利用者が「生涯現役」の生活をおくれるよう、家族・ケアマネジャー・地域・ボランティア等と一体となった援助を行うものである。

2 介護度の維持・改善とアクティビティ活動の促進

介護保険のサービスの基本は、「利用者本位」のサービスであり、「自立支援」にある。そのためにケアマネとの連携を図り、利用者課題を把握した上で、介護度の維持・改善を目的としたケアプランに基づいたサービス計画書を作成し、個々のニーズや能力に合わせたリハビリや、入浴や昼食後に余暇を有意義に過ごしていただくためのアクティビティ活動を提供した。（詳細は18（一日のサービス実施内容）を参照）

3 事故防止対策の取り組み

事故報告とヒヤリハット報告を毎月の職員会議の議題で取り上げ検証を行い、周知・徹底を図ることが大きな事故を未然に防ぐ事に繋がるという認識を職員が持ち、事故防止に取り組んだ。また事故発生時には、「事故・苦情マニュアル」に基づき迅速に対応するよう努めた。

4 ユーザー評価及び情報開示の実施

施設経営には、基本的理念、経営方針はもとより、利用者の権利擁護、人権の尊重といった根源的な理念を踏まえた民主的で健全な事業経営が求められている。ユーザー評価及び情報開示の実施により、利用者、家族の「安心」と「信頼」を得られるよう、サービスチェックを行い、問題の洗い直しと改善目標を設定し、サービスの向上に努めた。

5 個人情報の保護

日常的に利用者・家族の個人情報を多く取り扱っており、一度取り扱いを誤ると、利用者・家族に被害を及ぼすおそれがあるため、全職員に対して個人情報の管理と適切な取り扱いについての周知徹底を図った。

6 相談・苦情

利用者・家族からの率直な意見を適切に収集し、真摯に受け止めるために「相談（苦情）受付表」と「できごと報告書」を活用し、利用者懇談会を設け、利用者・家族の苦情・意見・要望に対して、出来る限りの改善に努めた。

また日頃から何気なく交わされる会話の中で利用者・家族の悩みや不満を察知し、話をする機会を設けるなど、早期問題解決を図った。ケアマネジャーからの相談・苦情についても円滑、迅速に対応した。

7 介護保険外サービス

今年度は、要支援者実費利用者は1名、外部美容師による理容はひと月に6～8名の方が利用され、在宅生活を支える一助となった。

8 障がい者の利用受け入れ（生活支援の基準該当サービス）

送迎・食事・入浴・レクリエーションを提供することで、生活リハビリに繋がるようなサポートを行っている。障がい者福祉サービスでは安心安全な入浴サービスの提供できる場が限られ、高齢者通所介護施設での入浴サービスを目的に利用開始となった。

9 設備・備品の改善

・チェア浴入れ替え工事、2Fリハビリ室のエアコン改修工事、自販機の撤去

10 職員の配置状況

(令和5年3月31日現在)

	管理者	生活相談員	看護師	介護士	計	実人数
常勤専従	—	—	—	0	0	0
常勤兼務	1	5	—	4	10	5
非常勤専従	—	—	—	1	1	1
非常勤兼務	—	2	4	6	12	6
計	1	7	4	11	23	12

11 職員の研修状況

4月	・サービスに関する情報の共有について	内部研修
5月	・援助の基本原則についての研修	内部研修
6月	・倫理及び法令遵守に関する研修	内部研修
7月	・サービスに関する情報の共有について	内部研修
8月	・サービスに関する情報の共有について	内部研修
9月	・サービスに関する情報の共有について	内部研修
10月	・非常災害時の対応に関する研修	内部研修
11月	・ハラスメントに関する研修	内部研修
12月	・身体拘束の排除、虐待防止に関する研修 ・非常災害時の対応に関する研修 ・認知症介護基礎研修	内部研修 内部研修 オンライン研修
1月	・プライバシー保護の取り組みに関する研修 ・認知症及び認知症ケアに関する研修	内部研修 内部研修
3月	・事故の発生予防又はその再発防止に関する研修 ・食中毒の発生予防とまん延防止に関する研修	内部研修 内部研修

12 職員の安全衛生・メンタルヘルスの取り組み

ストレスチェックや安全衛生の取り組み（交通安全危険予知・腰痛予防・感染症対策など）を行い、身体的・精神的負荷の軽減を図り、より良い職場環境と心身の健康を保持し、良質な介護サービスが提供できるよう努めた。

13 利用の状況

（令和5年3月31日現在）

	実施 日数 (日)	登録者数(人)			延利用者数(人)				令和4年度		令和3年度	
		総合 事業	通所 介護	基準 該当	総合 事業	通所 介護	基準 該当	合計	1日平均 利用者数	稼働率	1日平均 利用者数	稼働率
4月	20	12	38	1	61	323	3	387	19.4	77.4%	17.3	69.4%
5月	26	13	40	1	76	438	5	524	20.2	80.6%	17.7	71.1%
6月	26	13	43	1	88	424	4	524	20.2	80.6%	16.7	66.9%
7月	27	12	40	1	74	426	4	512	19.7	78.8%	17.2	68.9%
8月	24	10	39	1	50	387	5	448	16.6	66.4%	19.3	77.7%
9月	25	10	37	1	50	345	4	405	16.9	67.5%	18.8	75.7%
10月	21	9	35	1	51	359	4	422	16.9	67.5%	19.6	78.6%
11月	26	10	31	1	46	263	3	318	15.1	60.6%	19.1	76.6%
12月	26	8	28	1	45	324	4	380	14.6	58.5%	20.0	80.2%
1月	25	10	30	0	54	302	0	364	14.6	58.2%	17.8	71.4%
2月	24	10	31	1	48	326	2	384	16.0	64.0%	18.7	75.0%
3月	27	10	31	1	62	347	3	420	15.6	62.2%	19.3	77.5%
計	297	127	422	11	705	4,264	41	5,088	—	—	—	—
平均	24.8	10.6	35.2	0.9	58.8	355.3	3.4	424.0	17.1	68.5%	18.5	74.1%

※支援実費利用者数込み

14 利用者の要介護度の状況

(令和5年3月31日現在)

登録現員	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
40人	0人	4人	6人	11人	7人	8人	4人	0人	1.72
100%	0%	10%	15%	28%	17%	20%	10%	0%	
3年度	2%	10%	18%	30%	16%	18%	6%	0%	2.0

15 利用者のADLの状況

(令和5年3月31日現在)

ADL		男性	女性	計	割合
歩 行	全 介 助	0人	5人	5人	17%
	一部介助	1人	3人	4人	10%
	自 立	3人	26人	29人	73%
食 事	全 介 助	0人	0人	0人	0%
	一部介助	1人	4人	5人	12%
	自 立	3人	32人	35人	88%
入 浴	全 介 助	0人	8人	8人	20%
	一部介助	4人	18人	22人	55%
	自 立	0人	10人	10人	25%
着脱衣	全 介 助	1人	8人	9人	22%
	一部介助	2人	8人	10人	25%
	自 立	1人	20人	21人	53%
排 泄	全 介 助	1人	5人	6人	15%
	一部介助	0人	6人	6人	15%
	自 立	3人	25人	28人	70%
認 知 症		3人	27人	30人	75%

※障がい者含まず

16 年齢別の状況

(令和5年3月31日現在)

	男性	女性	計	割合
60歳～64歳	0人	0人	0人	0%
65歳～69歳	1人	1人	2人	5%
70歳～74歳	1人	0人	1人	2.5%
75歳～79歳	0人	5人	5人	12.5%
80歳～84歳	0人	12人	12人	30.0%
85歳～89歳	2人	9人	11人	27.5%
90歳～94歳	0人	8人	8人	20.0%
95歳～99歳	0人	1人	1人	2.5%
100歳以上	0人	0人	0人	0%
計	4人	36人	40人	100%
平均年齢	78.5歳	84.7歳	81.6歳	—

※障がい者含まず

17 区別登録者の状況

(令和5年3月31日現在)

	守山区	千種区	名東区	尾張旭市	計
男性	4人	0人	0人	0人	4人
女性	33人	0人	2人	1人	36人
計	37人	0人	2人	1人	40人

18 一日のサービス実施内容

身体機能の維持・向上を図り転倒予防に努める、脳の活性化を図り認知症の進行を予防する、気分転換を図り精神的安定を図ることを目的として、新型コロナ感染対策を行った上で、実施可能な限られたメニューから、利用者自らが主体的に選択することを重点に置いて取り組んだ。

	午 前	午 後	そ の 他
手指 認知 創作 精神安定	計算・国語・記憶問題 間違い探し カレンダー作成 針仕事・編み物 折り紙・塗り絵・習字 オセロ・将棋 パズル・トランプ ちねり絵・貼り絵 入浴	壁飾り作り・ちぎり絵 オーナメント作り 習字・写経 カラオケ・針仕事 回想法 オセロ・将棋 折り紙・編み物 ハンドベル 各種工作・	季節ごとの行事
運動	健康チェック 全体体操	ラジオ体操 体操クラブ 外出・散歩 体感ゲーム 輪投げ カローリング ボーリング テーブルホッケー 季節ごとのゲーム 体力測定（効果測定）	準備・整理体操 ※個別機能訓練 足上げ・蟹歩行 上半身ストレッチ ウォーキングマシン ペダル漕ぎ 平行棒 ゴムバンド運動
口腔	歌・嚙下体操	カラオケ・会話・談話	発声訓練・口腔ケア
栄養	水分摂取・体重測定	食事・おやつ	